畑田地区 HATAKEDA

地域活動の活性化に向けたワークショップ

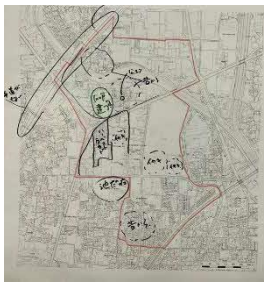
VOL. 01

ニュースレター

令和5年10月

発行：茨木市市民文化部地域コミュニティ課

畑田地区では、「畑田地区ってどんなとこ？-地域の魅力と課題を見つけよう！-」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和5年 10 月3日（火）に開催した第1回のワークショップでは、4つのグループに分かれて2つのワークを行いました。



第１回　実施概要

日　　時：2023.10.3（火）
19:00～21:00
会　　場：畑田コミュニティセンター
参加者数：16 人

プログラム

１：会長挨拶
２：ワークショップ趣旨説明
３：参加者自己紹介
４：グッドニュース・バッドニュース（アイスブレイク）
５:ワーク①:畑田ってどんなとこ？
６：ワーク②：未来の畑田について考えてみよう！
７：グループ発表（全体共有）

ワーク 1　畑田ってどんなとこ？

ワーク1では畑田地区の地図も見ながら、模造紙に付箋を貼って、畑田地区の魅力と課題を出し合いました。各**グループでたくさんの魅力と課題が出され、用意した模造紙はたくさんの付箋で埋め尽くされました。**

「地域の仲がいい」、「楽しそうな取組を積極的にしている」、「高速道路のインターが近く交通の利便性が高い」、「適度に自然が豊かで住みやすい」などの意見が各グループで共通して魅力としてあがり、**「交番が少ない」、「自治会の役の担い手が固定化している」、「若い人が自治会に入ってくれない」、「防災面が心配」**といった意見が共通した課題としてあがりました。

ワーク 2　未来の畑田について考えてみよう！

ワーク2では、ワーク1での「魅力」や「こうなったらいいな」という議論を踏まえて、**将来の畑田は、**
①魅力を磨いて、もっとこうなってほしい！②もっとこんなことしたい！③こうなったらいやだな。
という意見を出し合いました。

○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	ワーク1の主な意見		ワーク2の主な意見
	魅力	課題	未来の姿
1	○中学校区（4 つの小学校区からなる）は仲がいい ○最近子育て世帯が増え、地域の行事にも協力的 ○新鮮な野菜が安く買える ○貸し農園が多い	○子ども会のイベントに参加してくれる子どもが少ない ○若い世代は手伝いには来てくれるが担い手にはなってくれそうにない ○防犯面を強化したいものの、青パトは高齢化でできなくなる	○高齢になっても負担がないやり方で続けていきたい ○新しいアイディアや若い世代がやりたいことが積極的にできる地域にしたい ○もっとたくさんの若い世代・子育て世代に住んでほしい ○防災訓練をしたい
2	○校区内のイベントが盛ん ○公共施設（中央図書館・きらめき）が豊富 ○小学校のグラウンドが広い ○春日神社の石燈籠が、国の重要文化財になっている	○活動を行う人の高齢化が進んでいる ○コロナの影響により活動の引継ぎがうまくいっていない ○公園でのボール遊びが禁止されているため、地域でボール遊びができる場所がない	○子どもがボール遊びをできる場をつくる（※実は小学校のグラウンドでできる） ○活動の若い担い手が増えてほしい ○水害が心配なため、治水整備をしてほしい
3	○小学校との関係性がいい ○市街地が近い ○住宅地としての人気がある ○地域の仲がいい	○みんなでくつろげる場が少ない ○渋滞が多い ○公共施設があっても利用者は少ない ○近所づきあいのトラブルも発生している	○みんなが集まれる場をつくる ○居場所づくりをしたい ○活動に若い人が参加できるよう、若い人の声を聞いてみたい
4	○「地域の子どもは地域で見守る活動（12 年目）」に取り組んでいる ○公園の草刈りには多くの人が参加する ○五日市では防災訓練に取り組んでいる	○地域の子どもは地域で見守る活動のメンバーが 1 度も変わらない ○高齢者中心に公園などの草刈り活動を行っている	○自治会の活動に若い人がきやすくなってほしい ○若い世帯にきてもらうために、子どもをきっかけにして親に活動に参加してもらえる方法を探りたい ○災害リスクに対応できるようにする

次回ワークショップは 11 月 6 日（月）。今回話し合った畑田地区の魅力と課題を、よくしていくために、参考になる他自治体で行われている事例を学びつつ、できそう！と思えることを話し合います。